

R5年8月放送分
「東北防衛局の調達部業務」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.7.21 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の調達部業務をテーマに、東北防衛局から職員2名の方にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

【職員2名】

よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

では、はじめに自己紹介をお願いします。

【岡本】

はい、調達部調達計画課長の岡本です。出身は大分県です。よろしくお願いいたします。

【加藤】

同じく調達計画課の加藤です。採用4年目でこの4月に当課へ異動になりました。出身は、さくらんぼで有名な山形県東根市です。よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

こちらこそ、よろしくお願いいたします。それでは、今回のテーマの「東北防衛局の調達部業務」について、お話をお願いします。

【岡本】

今回、紹介する調達部業務は、主に自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設の建設を主な業務としています。

「防衛施設」は、基本的に事務所や訓練施設、教育施設、生活の場として機能しますが、地震や豪雨災害といった自然災害が発生した場合には、救護活動の後方支援の機能に加え、救援物資等の集積・輸送

拠点として自衛隊施設が利用されることも想定しなければなりません。

いずれの場合も、「防衛施設」は、様々な事態を想定した自衛隊の運用基盤となる訳です。

【パーソナリティー】

たしかに、災害時などに大事な機能・役割を果たす必要があるということですね。なかなか、一般的にイメージしにくい部分もあるかもしれませんが、何か代表的な施設はありますか？

【岡本】

代表的な防衛施設としては、飛行場、格納庫、港湾施設、燃料施設、レーダー施設があります。これらは、自衛隊の運用基盤となる施設ですが、このほか、隊舎、食堂、浴場といった隊員の生活を支える施設など、多岐にわたり様々な施設があり、これら施設の計画から設計、積算、工事の発注、工事の監督、完成検査までの一連業務を調達部の技官が担当しています。

本日は、調達部では若手の職員ですが、加藤技官に来てもらいました。

【パーソナリティー】

加藤さんは、若手の技官ということですが、これまでにどのような業務を経験されたのですか？

【加藤】

私は、令和2年に東北防衛局に採用され、もともと、学生時代に電気関係の分野を専攻していたことから、入庁当時は調達部の設備課へ配属されました。

そこでは、自衛隊施設の電気設備工事の工事監督官を経験しました。

【岡本】

調達部のなかには、建築課、土木課、設備課といった技術的な専門職種から構成される3つの担当課が所在しています。この他に、工事の進捗管理、施設の完成検査を実施する事業監理課があります。

また、関係機関との工事に関する計画調整、予算の執行・管理を含

めて、調達部全体を取りまとめる調達計画課があります。

【パーソナリティー】

加藤さんは、設備課の工事監督官として、思い出に残っている現場や施設はありますか？

【加藤】

隊員が利用する浴場の建設を担当したことです。私が初めて最初から最後まで監督をした工事なんです。

実は自衛隊の浴場の照明設備は、一般の建物の照明と少し違う工夫がなされているんです。一般の建物との大きな違いは湿度にあります。湿度が高いので照明のカバーの内側に水滴がたまるのを防ぐために、小さな穴が数ヶ所開いているんです。また、カバーに穴の無い防湿の照明もあったり、場所、状況に応じて様々な照明器具を使用しているんです。

このように、照明設備だけに限らず、いろいろな器具の形状や何気なく施されている機能には、必ず意味があるということです。浴場の現場でこれに気づいたのでとても印象に残っています。この経験から、常に疑問を持つ好奇心、探究心を今でも大事にしています。

【パーソナリティー】

そうなんですね、普段から照明器具はあまり気にしたことがなかったもので、とても興味深いお話しです。

普段の業務で何か心掛けていることはありますか？

【加藤】

業務で困難な課題や調整事項が生じた場合には、上司に相談をしたり、時には、周りの仲間へ気になる点を聞いて早期解決するように心掛けています。

早め早めに相談すれば、解決する手段の幅が広がり、より良い方向へ進めることができると思っています。よく社会人の基本となる「報・連・相」は、とても大事なことだと考えています。

【パーソナリティー】

私も、「報・連・相」は大事なことだと思います。

以前は工事監督官として、毎日忙しい業務をこなしていたと思いますが、休日はどうされていますか？

【加藤】

私の場合、休日はジムで筋トレをしたり、友人とサウナや釣りに行ったりとのんびりとした時間を過ごしています。

また、好きなバンドのライブに行って仕事のやる気を高めたりして楽しんでいます。

【パーソナリティー】

のんびりと過ごしたり、好きな音楽を楽しんだりして、リフレッシュしているんですね。

【岡本】

我々も上司として、若い職員が元気に活躍してもらうよう、業務を効率的に進め、休暇を取りやすい勤務環境に努めています。

【パーソナリティー】

素敵な職場ですね。

最後に、岡本課長から、お知らせすることがありますか？

【岡本】

はい。東北防衛局では、ツイッターを開設しました。

これまで情報発信は、ホームページや広報紙が中心でしたが、ツイッターでも積極的にイベント情報や採用情報などを発信していきますので、ラジオをお聞きの皆様に「東北防衛局広報チーム(TDB_sns)」というアカウントをフォローしていただければ嬉しいです。

東北防衛局ホームページには、技術系職員の採用情報のほかにも、我々、地方防衛局調達部の技術系職員の仕事を紹介している「技術で築く、日本のキホン」というパンフレットも掲載しています。加藤技官のような若手職員の仕事ぶりも記載されていますので、是非、ご覧下さい。

今年9月には「国家公務員採用試験の一般職高卒程度」が予定されていますので、特に、受験される方はご参考として頂ければ幸いです。

そして、実は先月、技術系採用試験の受験者を対象とした「東北防衛局・現場セミナー」を開催しました。今年は初めての開催ということもありましたが、電気・電子、機械、土木を専攻する6名の学生さんが参加されました。陸上自衛隊・仙台駐屯地において、まさに建設中の「倉庫」の現場を見てもらいました。限られた時間ではありましたが、実際の現場を見ることによって、技術系職員が従事する工事監督官の業務をイメージできたのではないかと思います。

学生さんたちに少しでも東北防衛局の調達部業務に興味・関心を頂きたいと思い、引き続き、来年もこの現場セミナーを開催したいと考えています。開催情報については東北防衛局ホームページでお知らせしますので、どうぞ、よろしくお願ひします。

【パーソナリティー】

本日は、調達部業務について、調達計画課の岡本課長と加藤さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。

【岡本・加藤】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。